

部局別業務棚卸一覧表（教育委員会）

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式1

部局重点活動目的 (H17年度)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	部局重点活動目的設定理由
	予算総額	従事職員総数		
児童生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、小中学校での安全対策や教育環境の整備を推進するほか、学校への指導体制を強化する。 市民が快適にかつ安全に芸術文化活動ができるよう、また、市民に対する多様な学習機会と情報提供ができるよう、文化施設と社会教育施設の改善や事業内容の見直しを図る。	目標達成度 市民の満足度	-	-	学校の安全管理を図るため、更なる対策を講ずるほか、小中学校の教育環境の整備や社会情勢の変化に応じた学校指導の充実が必要であるため。 文化施設や社会教育施設には老朽化しているものがあり、それらの改修を行うとともに、各々の事業内容の見直しが必要であるため。
	12,948,337	190名(教育長、教育次長2室長、館長、課長、所長、補佐等40名、主事、技師130名、技能17名) 小中学校教職員と高等学校の教員を除く		

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
		予算総額				
	担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数		

教育委員会および事務局が処理する事務を円滑に執行する。		適正処理率	100%	100%	各部局連絡調整課および庶務・財政・企画主管課等における調整業務との関わりが深い。	
		5,756,799千円	15.0人			
1	教育委員会内の連絡調整業務 (総務課 庶務担当) 教育委員会の会議等を運営するほか、教育委員会に関する法令等の解釈・審査、事務局の組織および人事等の管理、教育長等の特命事項の処理、他部局との連絡調整を行う	適正処理率	100%	100%	(1)教育委員会の会議等の運営 (2)教育委員会に関する法令等の解釈・審査等 (3)事務局の組織・定数・人事の適正管理 (4)教育長、教育次長の特命事項等の処理 (5)市議会への対応 (6)教育委員会の庶務	
			4,465,533千円	10.0人		
2	教育委員会の予算業務 (総務課 経理担当) 教育委員会内の予算編成、執行管理等の諸調整を図る。	適正処理率	100%	100%	(1)予算編成 (2)予算執行管理 (3)教育行政施策の調整 (4)決算処理 (5)学校備品の整備	
			1,291,266千円	5.0人		

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

	学校教育環境の整備を行う	適正処理率	100%	100%	公共施設を設計する業務との関わりが深い。	
		2,780,110千円	9.0人			
3	学校施設の維持補修、改築等業務 (総務課 施設担当)	適正処理率	100%	100%	(1)小中学校増改築事業 日新小学校 77,462千円 山王中学校 1,631,546千円 中高一貫校増築事業 10,905千円 (2)小中学校大規模改造事業 (老朽) 中通小学校 229,785千円 広面小学校 187,959千円 (3)小中学校大規模改造事業 (トイレ改修) 泉小 55,448千円 泉中 52,066千円 (4)小中学校耐震診断 補強事業 耐震診断 小6校、中1校 63,658千円 耐震補強 小6校、中1校 223,034千円 (5)小中学校グラウンド改良事業 下北手小学校 75,998千円 (6)その他小中学校施設整備事業 (1)~(6)は 【市長重点化推進事項】	
		学校施設 設備の充実	2,780,110千円	9.0人		

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

本市の児童生徒が充実した学校生活を送ることができる。		適正処理率	100%	100%		
		972,068千円	8.0人			
4	学事業務 (学事課 学事担当) 学校教育を受けるための環境を整備し、各種支援策等を実施する。	適正処理率	100%	100%	(1)児童生徒及び保護者に対して支援する 小中学校就学奨励事業 197,545千円 各種大会出場費補助金 42,345千円 幼稚園就園奨励事業 467,476千円 (2)学校に対して支援する 情報教育環境整備事業 34,568千円 教師用教科書 指導書購入経費 3,355千円 理科教育設備整備経費 6,697千円 特殊学級新設経費 5,890千円 (3)各学校団体 (市内の私立学校) に対して支援する 私学振興助成事業 23,400千円 (4)学籍関係業務の適正処理	(1)私学振興助成事業の見直し 平成15年度の市単独補助金の見直しによる運営費補助金の廃止及び少額補助金廃止に伴い、私立中学・高等学校協会および法人立専修学校連合会に対する補助金を段階的に廃止するもの。 H16年度は、事業費に対して補助し、H17年度は補助額を1/2に減額して、H18年度からは廃止することとする。両団体には説明済みで同意を得ている。
		972,068千円	8.0人			

本市の児童生徒が、健康的で安全な学校生活を送ることができる。		適正処理率	100%	100%		
		460,264千円	5.0人			
5	保健給食安全業務 (学事課 保健給食担当) 児童生徒及び教職員の学校生活における安全を確保するとともに健康維持・増進のため保健給食環境を整備する。	適正処理率	100%	100%	(1)児童生徒・教職員の健康の保持増進 小中学校保健事業 130,005千円 (2)学校生活における児童生徒の安全確保 小中学校安全事業 90,952千円 小学校警備経費 44,872千円 市長重点化推進事項】 (3)安全で衛生的な学校給食を実施する 小中学校給食事業 151,448千円 地産地消の推進 市長重点化推進事項】 (4)学校給食の施設・設備等の整備充実 小中学校給食設備更新経費 14,379千円 小中学校米飯給食飯缶方式事業 17,147千円 小中学校給食棟改修経費 11,461千円	(1) 小学校警備事業 16年度は、緊急雇用創出特別基金事業を活用し実施しているが、事業は17年度も継続実施する。
		460,264千円	5.0人			

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

	知・徳・体のバランスのとれた自立型の児童・生徒の育成を図る。	健全に育っている児童生徒の割合	未実施	100.0%		
		150,590千円	17.0人			
6	教職員担当業務 (学校教育課 教職員担当) 市立小・中学校、高等学校の円滑な学校教育運営のため、配置される教職員の任免、服務、給与、その他勤務条件に関する事務を行う	適正処理率	100%	100%	(1)人事管理 (2)教職員の服務管理 (3)教職員の給与事務 (4)教職員の免許事務	
		1,977千円	4.0人			
7	指導担当業務 (学校教育課 指導担当) 市立小・中学校、高等学校の児童生徒に対する教育を充実させるため、学校への指導・支援等を行う	適正処理率	100%	100%	(1)学校訪問指導の実施 (2)学校指導の指針を示すための委員会の開催 (3)学校での研究実践を高めるための施策実施 二期制の施行に向けた移行実施 市長重点化推進事項】 総合的な学習の時間支援事業 35,084千円 英語指導助手活用事業 6,995千円 特別非常勤講師活用事業 1,952千円 (4)不登校児童生徒への支援 適応指導センター「すくろ・みらい」運営 9,405千円 (5)特別な支援を要する児童生徒への支援 特別支援教育推進事業 5,592千円 (6)児童生徒の交流活動推進 はばたけ秋田っ子教育推進事業 3,766千円 (7)学校での事故報告への対応 (8)地域の意見を学校運営に反映 学校教育懇談員活用事業 1,078千円 (9)学習外活動の支援 中学校部活動外部指導者派遣事業 2,460千円 (10)国、県などからの文書配布と調査の実施	(1)生徒が週1回以上英語指導助手 (ALT)と日本人英語教師とのチームティーチングによる授業を受けることが可能となるよう平成20年度まで段階的に増員する。 (2)学校に適応出来ない児童生徒を支援するため、特別支援教育推進事業の中で、学校や保護者から特に必要であるとの要望が多い小学校の学級生活支援について、派遣校数を増やす。 (3)全市立小・中学校で二期制を本格導入し、児童生徒一人ひとり深くかかわりながら、きめ細かな指導を行う
		88,139千円	8.0人			

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

8	調査研究担当業務 (教育研究所 調査研究担当) 各校の学校経営や指導の改善を促すため、当面する課題について研究調査し資料を提供する。	資料整備数 / 課題件数	70% (推定値)	70%	(1)調査研究の実施 教育経営実態調査 基礎学力調査 体力運動能力調査 諸検査 (2)教育情報の収集 (3)教職員への調査研究内容の公表 (4)教育情報保守管理 (5)教育研究所の維持管理 (1)～(5)は、教育研究所管理費40,395千円、経常事業11,185千円に含む	
	52,580千円	3.4人				
9	研修担当業務 (教育研究所 研修担当) 今日の教育課題に適切に対応できる市立学校教職員を育成するため、豊かな人間性と専門的な資質能力の向上に必要な研修を企画・運営する。	状況、環境に適した最適な判断ができる教職員数 (校長評価)	100% (推定値)	100%	(1)教職員研修の企画 (2)教職員研修の実施 (3)研修成果の検証 (1)～(3)は、教職員研修推進事業7,894千円	
	7,894千円	2.3人				
10	教育相談担当業務 (教育研究所 教育相談担当) 良好な教育環境を実現するため、障害児の就学、いじめ・不登校、教育一般等に関する相談において、受容と共感に基づくきめ細かい対応を行う	応答数 / 相談件数	100%	100%	(1)相談しやすい体制づくり (2)相談活動の実施 (3)広報活動の充実 (4)相談児童生徒の情報収集 (5)関係機関との連携 (1)～(5)は、教育研究所経常事業11,185千円に含む	
	-	1.3人				

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

スポーツに親しむ市民が増える。		施設の利用率 (年間利用者 / 市民人口)	2.1回/人	2.2回/人	平成19年秋田わか杉国体における秋田市開催競技に関する業務との関連が深い。	
		1,060,716千円	16.0人			
11	快適な体育環境の提供業務 (スポーツ振興課 管理担当) 多くの市民が気軽にスポーツを楽しめる 快適な体育環境を提供するため、市営 体育施設の適正な管理運営を行う	施設の稼働率 (使用可能日数 / 開場日数)	94.80%	97.00%	(1)施設の充実 八橋運動公園整備事業 756,550千円 市立体育館整備補修等経費 9,750千円 屋内体育施設整備事業 485千円 体育施設整備補修等経費 10,358千円	
		1,020,399千円	13.0人		(2)利用日の調整	
12	生涯スポーツの普及業務 (スポーツ振興課 振興担当) 市民の健康保持増進を図るため、誰もが 気軽に運動やスポーツを行える環境 を実現する。	指定解放利用者数、イベント・ス ポーツ教室参加者数	64,024人	74,000人	(1)学校体育施設の指定開放日の利用促進 (2)各種スポーツイベントの充実 (3)自主的スポーツ活動の支援	
		40,317千円	3.0人			
13	充実したスポーツ活動業務 (スポーツ振興課 振興担当) スポーツ指導者を養成するとともに、育 成システムを充実させる。	市人口に対する指導者の率	1%	1.1%	(1)指導者の資質向上 ジュニア指導者育成事業 983千円	
		2,624千円	3.0人		(2)専門性の高い技術・知識の提供 スポーツ指導者派遣制度の活用推進 指導者資格の取得促進	

市民が優れた文化に親しみ心の豊かさを育む。		秋田市の文化に満足している市民の比率	未実施	12%		
		8,142千円	3.0人			
14	文化振興事業 (文化振興室 振興担当) 市民の文化活動の充実のため支援・奨励 ・環境の整備を行う	市の施策を活用した事業への出演・出品等の延べ参加者数	19,287人	20,000人	(1)芸術鑑賞機会の拡大 文化振興関係団体育成事業 3,650千円	
		8,142千円	3.0人		(2)文化活動環境の整備 合併後の文化関係団体の活動支援・育成	
					(3)文化活動の奨励 文化振興基金事業 1,890千円 文化の日記念式典	

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

郷土の歴史的文化遺産を守る。		市民の文化財についての理解度	未実施	10%		
		118,330千円	6.0人			
15	文化財保護 活用業務 (文化振興室 文化財担当)	指定文化財の数	204件	208件	(1)文化財把握の調査 指定文化財候補物件調査 文化財分布調査 ア 遺跡事前発掘調査事業 2,000千円 (2)文化財の保護と管理 文化財保護 ア 特別記念天然物(カモシカ)食害 対策事業 1,631千円 イ 文化財保存事業補助金 3,649千円 (3)文化財の有効活用 文化財公開 ア 地蔵田遺跡環境整備事業 10,780千円 イ 旧金子家住宅復元整備事業 82,082千円 ウ 埋蔵文化財情報等公開事業 9,513千円	(1)カモシカ食害対策については、防護網の支給を再開する。
		文化財を後世に継承し、保護と活用を図る。	118,330千円	6.0人		

秋田城跡を保護する。		住民の認知 理解度	未実施	10%		
		186,807千円	4.0人			
16	秋田城跡の保護 活用業務 (秋田城跡調査事務所)	秋田城跡の来訪者数	17,330人	23,000人	(1)秋田城跡の保存を図る 秋田城跡発掘調査関係経費 16,075千円 秋田城跡土地買上事業 60,000千円 (2)秋田城跡の活用を図る 秋田城跡出土遺物保存処理経費 1,000千円 秋田城跡史跡公園管理経費 4,633千円 秋田城跡管理事業	
		秋田城跡を後世に継承するために保存と活用を図る。	186,807千円	4.0人		

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
No.	業務名称 (課所室 担当名) 担当業務目的 (上位目的達成手段)	予算総額	従事職員総数		H16主要事業	H17見直し案の要旨
		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)		
		予算額	従事職員数			
市民が気軽に美術に親しみ、精神的・文化的充足感を得る場として、地域文化・教育の振興と発展に寄与する。		利用者の満足度	78%	80%		
		193,327千円	7.0人			
17	美術館運営業務 (千秋美術館) 市民の美術に対する理解と関心を深めるため、市民がいつでも立ち寄り、美術に対する関心を充足することができる環境を実現する。	リピーター率 (2回以上の来館回答者数 ÷ アンケート回答数 × 100)	49%	75%	(1) 展覧会の開催 企画展開催事業 44,921千円 (2) 教育普及および調査研究 教育普及事業及び調査研究事業 1,524千円 (3) 資料収集 美術資料充実経費 14,000千円 (4) 保存管理 所蔵品管理システム導入事業 7,520千円 (5) 施設の維持管理	
		193,327千円	7.0人			
親しまれる郷土館として、文化・教育の振興と発展に寄与する。		利用者の満足度 (5段階)	-	4		
		31,897千円	4.0人			
18	赤れんが郷土館運営業務 (赤れんが郷土館) 郷土の歴史と文化に対する関心と理解を深めるため、来館者が郷土の歴史と文化を学べる環境を整備する。	施設利用者数	29,978人	30,000人	(1) 郷土に関する展覧会の開催 企画展開催及び教育普及事業 9,676千円 (2) 重要文化財 (旧秋田銀行本店本館) の保存と活用に努める (3) 市民対象の教育普及事業をすすめる (4) 郷土に関する資料を計画的に収集する (5) 建物や設備を守り維持していく	
		31,897千円	4.0人			
郷土の民俗行事・民俗芸能に親しむ人を増やして、文化・教育の振興と発展に寄与する。		利用者満足度 (5段階)	-	4		
		13,377千円	2.0人			
19	民俗芸能伝承館運営業務 (民俗芸能伝承館) 郷土の民俗行事・民俗芸能の保存、伝承を図るため、利用しやすい環境を実現する。	施設利用者数	59,026人	60,000人	(1) 郷土の民俗行事と民俗芸能について展示紹介する (2) 民俗芸能の後継者育成を進める (3) 円滑な施設の運営を行う (1)~(2)は、民俗芸能伝承館管理費 11,128千円、経常事業 1,452千円	
		13,377千円	2.0人			

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

市民の教育、学術および文化の発展に寄与する。		観覧者満足度	推定 70%	70%		
		52,358千円	3.0人			
20	佐竹史料館運営業務 (佐竹史料館)	利用者	45,153人	45,153人	(1)見て聞いてわかる展覧会や学習講座を開催する 企画展等開催事業 7,796千円 (2)史料館で管理する江戸時代の資料を紹介する (3)秋田藩や佐竹氏についての歴史案内人を養成する (4)指定文化財の維持管理 黒澤家住宅保存修理事業30,000千円 (5)佐竹史料館改築構想検討委員会 検討経費 970千円 市長重点化推進事項】	
	秋田藩についての知識を深めるため、藩政時代の資料を収集し、展覧会や講座等をおして郷土の歴史を学ぶ環境を整える。	52,358千円	3.0人			

市民が快適且つ安全に芸術文化活動ができる環境づくり		利用者の満足度	3.3	4		
		291,589千円	5.0人			
21	施設の維持保全業務 (文化会館)	改修事業計画実施率	7.2%	27.5%	(1)施設担当による保守管理 (2)委託業者による保守点検 (3)利用者との打ち合わせ (4)災害発生時に対応できる職員の体制と施設の整備 (5)施設の改修 改修事業 112,310千円 (1)～(4)は、文化会館管理費 166,828千円	(1)H17年度改修事業予定 耐震診断業務 緊急施工費
	施設設備の整備・保守管理を行う	施設設備のトラブル件数 (緊急施工件数)	1	0		
		264,963千円	2.5人			
22	施設の管理運営業務 (文化会館)	利用者数	506,984人	510,000人	(1)芸術文化等の活動場所の提供 (2)芸術文化の鑑賞機会の充実 文化会館自主事業 11,000千円	(1)自主事業については休止し、H18年度以降の事業のあり方を検討する。
	市民の芸術文化活動の充実のため、発表しやすい場の環境づくりをするとともに、芸術鑑賞の機会を増やす。	26,626千円	2.5人			

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

	学びたいときに学べるようにするなど、市民が、生涯にわたり 生き生きと過ごせるようにする。	社会教育事業に対する市民の満足度 55,630千円	-	80%		
23	生涯学習の企画振興業務 (生涯学習室 企画振興担当) 生涯学習社会の充実を図るため、生涯にわたる学習活動に適した環境を整える。	生涯学習環境に対する苦情件数 41,315千円	0件	0件	(1)生涯学習推進体制の整備 生涯学習懇談会の開催等 (2)生涯学習情報の提供 (3)学習機会の提供 生涯学習奨励員の自主企画事業 生涯学習地域づくり講師派遣事業 情報学習講座等推進事業 26,465千円 (4)社会教育関係団体等の活性化 社会教育各種団体補助金 2,360千円 (5)よりよい学習環境の提供 社会教育関係職員の研修	
24	社会教育環境の充実業務 (生涯学習室 社会教育担当) 社会の変化や市民のニーズに対応した社会教育環境を整備する。	社会教育事業に対する苦情件数 14,315千円	0件	0件	(1)各ライフステージ及び学習ニーズに対応した学習の場の提供 子ども体験活動推進事業 8,077千円 成人の日記念事業 3,086千円 社会教育推進事業 (市民大学講座等) (2)家庭教育相談事業の支援 (3)情報の提供 (4)社会教育計画立案 (5)社会教育関係職員の養成 (6)社会教育団体の育成 (7)社会教育設備整備	

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

25	青少年が、心身共に健やかに育つ環境をつくる。	秋田市青少年プランの達成率	-	90%		
		202,603千円	4.6人			
	青少年健全育成業務 (生涯学習室 青少年担当)	児童館が放課後児童クラブのどちらかが利用できる学区数	33学区	35学区	(1)児童館の計画的な整備 御所野児童室整備事業 9,318千円 勝平児童館改修経費 6,715千円 藤倉山の家解体経費 8,188千円 (2)児童館施設の効率的な運営・管理 児童厚生施設等関係経費 116,536千円 児童館運営体制強化事業 13,127千円 (3)学童保育の実施 放課後児童健全育成事業 45,023千円 (4)子ども会活動の活性化 (5)青少年プランの見直し	
	児童が放課後安心して過ごせるよう 学校と家庭以外の安全な遊び場と環境を提供する。	202,603千円	4.6人			

26	市民の生涯学習体験活動の場として、有効に活用する。	施設利用率 (利用日数 / 開館日数)	67.82%	75.00%		
		109,240千円	6.0人			
	太平山自然学習センターの運營業務 (太平山自然学習センター)	施設利用者数 (延べ人数)	12,396人 (8 / 12か月)	20,000人	(1)安全快適な施設の環境整備を充実させる (2)自然体験活動機会を増やすための自主事業を開催する (3)施設利用者数の増を図る (1)~(3)は、太平山自然学習センター管理費 109,094千円	
	心身ともに健全な青少年を育成するため、学校や各種団体による宿泊体験や野外活動を実施するとともに、個人でも気軽に参加体験できる自主事業を開催する。また、施設の快適かつ有効利用を促進する。	109,240千円	6.0人			

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

市民の科学に対する関心と次代を担う青少年の知的好奇心を高める。		利用者アンケート Hによる満足度	-	70%		
		19,756千円	3.0人			
27	自然科学学習館の運営業務 (自然科学学習館)	利用者数	-	30.000人	(1)多様な活動に対応した環境整備を図る。 (2)科学に親しむ機会を増やすための事業を開催する。 (3)運営状況を把握し、課題の改善を図る。 (1)～(3)は、自然科学学習館管理費 19,756千円	
	目的に応じた多様な学習機会の提供と施設の環境整備を行う	19,756千円	3.0人			

勤労青少年の充実した余暇活動を支援する		ホーム利用者数	8,248人	7,000人		
		2,105千円	1.5人			
28	勤労青少年ホームの運営業務 (青少年センター)	主催事業参加者数	670人	1,000人	(1)学習機会の提供 (2)自主活動の促進 (3)情報提供 (1)～(3)は、勤労青少年ホーム管理費 1,514千円	
	勤労青少年に対し、社会人、職業人として役立つ学習の機会や交流の場等を提供する	2,105千円	1.5人			

青少年を非行から守るため、青少年に有害な環境の把握と浄化に努める		少年指導委員の活動率	74.0%	80%		
		3,667千円	1.5人			
29	少年指導センターの運営業務 (青少年センター)	巡回従事者数	1,055人	1,100人	(1)非行防止活動の充実 (2)相談活動の充実 (1)～(2)は、少年指導センター関係経費 1,270千円	
	少年指導委員を委嘱し、巡回指導等により非行の未然防止に努める	3,667千円	1.5人			

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			
主に女性に関する諸課題解決に向けての主体的な活動を支援する。		講座利用者数	6,812人	7,000人		
		2,730千円	2.5人			
30	女性学習センターの運営業務 (女性学習センター) 課題に対応した学習機会や情報を提供する。	講座回数	231回	240回	(1)講座等の開催 (2)自主学習活動の育成 (3)学習情報等の提供 (4)利用しやすい施設の管理運営 (1)～(4)は、女性学習センター管理費1,336千円、経常事業1,277千円	
		2,730千円	2.5人			

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

地域住民の生涯学習を支援する。		住民満足度(生涯学習の支援に対する住民要望分の公民館対応)	未実施	90%		
			20.5人			
31	公民館の運営業務 (中央公民館)	利用者数 事業数	96,467人 58事業	105,000人 60事業	(1)各年齢層に応じた教育の推進 (2)公民館の管理運営 (3)6館の連絡調整事務 (4)公民館まつりの開催 (5)社会教育団体、機関との連携 (6)公民館サークルの育成 (1)～(6)は、中央公民館経常事業1,626千円	
	地域の生涯学習を推進するため、社会教育の中核施設として、地域課題、各年齢層に応じた学習の機会および場を提供する。	62,602千円	4.5人			
32	公民館の運営業務 (土崎公民館)	利用者数 事業数	135,810人 28事業	136,000人 33事業	(1)地域課題、各年齢層に応じた学習の機会および場を提供する (2)地域住民の自主活動を促進するため、関係団体への支援と連携を図る (3)公民館の効率的な運営を推進する (4)土崎体育館・グラウンドの効率的な運営を推進する (5)分館 将軍野高齢者学習センターの効率的な運営を推進する (1)～(5)は、土崎公民館の管理費12,982千円、経常事業1,502千円	
	地域の生涯学習を推進するため、社会教育の中核施設として、地域課題、各年齢層に応じた学習の機会および場を提供する。	26,453千円	4.0人			
33	公民館の運営業務 (西部公民館)	利用者数 事業数	26,179人 49事業	35,000人 60事業	(1)各年齢層に応じた事業の展開 (2)公民館サークルの育成 (3)芸術文化活動の推進 (4)社会教育関係団体 機関等の育成と連携 (5)公民館の管理運営 (1)～(5)は、西部公民館管理費2,604千円、経常事業1,064千円	
	地域の生涯学習を推進するため、社会教育の中核施設として、地域課題、各年齢層に応じた学習の機会および場を提供する。	6,940千円	3.0人			

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的 (上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

34	公民館の運営業務 (東部公民館)	利用者数 事業数	71,731人 66事業	73,000人 70事業	(1)学習機会を提供する事業の展開 (2)地域住民の自主学習活動の支援と育成 (3)社会教育関係団体 機関等の育成と支援 (4)公民館の管理運営 (1)～(4)は、東部公民館管理費3,501千円、 経常事業1,542千円	
	地域の生涯学習を推進するため、社会教育の中核施設として、地域課題、各年齢層に応じた学習の機会および場を提供する。	12,717千円	3.0人			
35	公民館の運営業務 (南部公民館)	利用者数 事業数	50,118人 44事業	52,000人 62事業	(1)生涯学習機会の提供 (2)住民自主学習活動の育成と支援 (3)公民館の管理運営 (1)～(3)は、南部公民館管理費3,249千円、 経常事業1,130千円	
	地域の生涯学習を推進するため、社会教育の中核施設として、地域課題、各年齢層に応じた学習の機会および場を提供する。	8,776千円	3.0人			
36	公民館の運営業務 (北部公民館)	利用者数 事業数	30,040人 55事業	35,000人 60事業	(1)各年齢層に応じた教育の推進 (2)芸術文化活動の提供 (3)自主学習の奨励及び指導体制の強化 (4)施設の利用促進 (5)施設の管理 (1)～(5)は、北部公民館管理費3,747千円、 経常事業841千円	
	地域の生涯学習を推進するため、社会教育の中核施設として、地域課題、各年齢層に応じた学習の機会および場を提供する。	9,444千円	3.0人			

37	市民の知的欲求に応えるために、資料及び情報を提供する。	市民(来館者)の知的欲求満足度	未実施	65%	美術工芸短期大学附属図書館の業務や市公共施設の図書コーナーなどを管理する業務と関連がある。	(1)年々、市民の学習要求が高まるにつれ、多様な分野の蔵書確保が必要となり現在の収納スペースが手狭になってきている。そのため、視聴覚ライブラリー 移転後のスペースに書架を配架する。
	図書館の運営業務 (中央図書館明徳館)	行政効果 = 還元額 {(総貸出冊数 × 平均単価) - 必要経費 (図書館費 + 人件費)} ÷ 人口 (明徳館管轄分)	7,553円	8,500円		
	市民が必要とする資料や情報を収集・保存し、市民が活用できるようにする。	129,484千円	11.0人		(1) 図書館資料の充実 図書資料整備経費 33,120千円 貴重古文書情報化推進事業 25,130千円 (2) 図書館資料の活用 (3) 図書館利用の促進 開館時間の延長 警備経費 1,995千円 (4) 図書館協議会の開催 (5) 施設維持管理 施設整備	

上位目的 (部局目的達成手段)		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	他部局関連施策	
No.	業務名称 (課所室 担当名) 担当業務目的 (上位目的達成手段)	成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
		予算総額	従事職員総数			
		成果指標	実績 (H15)	目標 (H17)		
		予算額	従事職員数			

38	図書館の運営業務 (土崎図書館)	行政効果 = 還元額 {(総貸出冊数 × 平均単価) - 必要経費 (図書館費 + 人件 費)} ÷ 人口 (土崎図書館管轄 分)	6,164円	7,396円	(1) 図書館資料の充実 図書館資料整備経費 6,440千円 金子洋文資料整理経費 1,441千円 (2) 図書館資料の活用 (3) 図書館利用の促進 (4) 施設維持管理 施設整備	
	市民が必要とする資料や情報を収集・ 保存し、市民が活用できるようにする。	27,146千円	7.0人			
39	図書館の運営業務 (新屋図書館)	行政効果 = 還元額 {(総貸出冊数 × 平均単価) - 必要経費 (図書館費 + 人件 費)} ÷ 人口 (新屋図書館管轄 分)	8,346円	9,000円	(1) 図書館資料の充実 図書館資料整備経費 4,600千円 (2) 図書館資料の活用 (3) 図書館利用の促進 (4) 施設維持管理 施設整備	
	市民が必要とする資料や情報を収集・ 保存し、市民が活用できるようにする。	26,748千円	6.0人			

生徒 教職員の学校生活を守る。		適正処理率	100%	100%		
		163,298千円	10.0人			
40	秋田商業高等学校学校事務 (秋田商業高校)	適正処理率	100%	100%	(1) 事務室の運営 学校施設設備管理 ア 学校施設等改修経費 20,804千円 物品の発注・収納出納管理 文書の收受・発送 授業料、校納金徴収 厚生福利～学校保健事業 図書 of 整理 予算の作成 諸証明の発行	
		秋田商業高校運営の円滑化を図るた め、適切な事務処理を行う	106,397千円	6.0人		
41	御所野学院高校学校事務 (御所野学院高校)	適正処理率	100%	100%	(1) 事務室の運営 学校施設設備管理 物品の発注・収納出納管理 文書の收受・発送 授業料、校納金徴収 福利厚生 図書の管理 予算の作成 諸証明の発行	
		御所野学院高校運営の円滑化を図るた め、適切な事務処理を行う	56,901千円	4.0人		